

効率とシステムサイズの関係に対する確率モデルによる考察

山崎研 M4 藤本將太郎

2015/05/01

アウトライン

卒業論文で扱った内容に関して

- 1 研究背景
- 2 作成したモデル
 - アプローチ
- 3 解析結果
- 4 まとめ
- 5 参考文献

研究背景

- 生物に関する興味
- アロメトリー則、ホヤの実験によるシステムサイズと代謝率の関係
- 会議やグループワークにおける参加人数と効率の関係

系

のシステムサイズが大きくなると、その特徴量がシステムサイズに比例して大きくはならず、相互作用などによって期待されるより小さな量を持つ系

アプローチ

- 会議をイメージしながらも、より一般的。抽象的なモデルを作成
- モデルに関して解析的な計算、数値シミュレーションを行う
- 特徴量のシステムサイズに対する応答を調べる

解析結果

テーマのまとめ

参考文献